

■平成21年第4回三豊市議会定例会 審議結果

議案第91号	平成20年度一般会計歳入歳出決算認定	原案認定 (賛成多数)
議案第92号 ) 議案第104号	平成20年度歳入歳出決算認定 特別会計(地域農産物利用促進センター事業・国民健康保険事業・国民健康保険診療所事業・老人保健事業・後期高齢者医療事業・介護保険事業・介護サービス事業・集落排水事業・浄化槽整備推進事業・港湾整備事業・土地造成事業)水道事業会計・病院事業会計	原案認定 (全会一致)
議案第131号	高瀬町総合交流ターミナル施設及び高瀬町産地形成促進施設管理基金条例の制定	原案可決 (全会一致)
議案第132号	中小企業振興基金条例の制定	原案可決 (全会一致)
議案第133号	西香川病院基金条例の制定	原案可決 (全会一致)
議案第134号	漁業振興基金条例の制定	原案可決 (全会一致)
議案第135号	公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部改正	原案可決 (全会一致)
議案第136号	区域外における公の施設の設置に関する協議	原案可決 (全会一致)
議案第137号	三豊総合病院組合規約の全部変更	原案可決 (全会一致)
議案第138号	香川県 三豊市 観音寺市 学校組合規約の一部変更	原案可決 (全会一致)
議案第139号	平成21年度一般会計補正予算(第5号)	原案可決 (全会一致)
議案第140号	平成21年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決 (全会一致)
議案第141号	平成21年度国民健康保険診療所事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決 (全会一致)
議案第142号	平成21年度後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決 (全会一致)
議案第143号	平成21年度介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決 (全会一致)
議案第144号	平成21年度介護サービス事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決 (全会一致)
議案第145号	平成21年度浄化槽整備推進事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決 (全会一致)
議案第146号	平成21年度水道事業会計補正予算(第4号)	原案可決 (全会一致)
議案第147号	平成21年度病院事業会計補正予算(第1号)	原案可決 (全会一致)
議案第148号	工事請負契約の変更契約	原案可決 (全会一致)
議案第149号	工事請負契約の締結	原案可決 (全会一致)
議案第150号	人権擁護委員候補者の推薦	原案同意 (全会一致)
請願第2号	三豊市が検討しているごみ処理問題	継続審査 (全会一致)
請願第3号	ごみ処理問題に関する請願書	採 択 (全会一致)

議決年月日 議案第91号～104号 平成20年度歳入歳出決算認定 (平成21年12月3日)  
その他の議案(平成21年12月22日)



初日には、市長より議案の提案理由の説明がありました。主な議案は次のとおりです。

議案第131号は、高瀬町総合交流ターミナル施設及び産地形成促進施設が、第三セクターの解散により指定管理者制度による民間の管理運営となるため、指定管理者からの施設使用料を管理基金として積み立てるための条例制定です。

議案第132号は、本市中小企業の振興や地域活性化を図っていくことを目的とした条例制定で、議案第134号は、三豊市内の漁業の振興を図り、漁業を取り巻く環境整備を実施していくための条例制定です。

議案第139号一般会計補正予算は、歳入歳出それぞれ5億6,967万1千円を追加し、予算の総額を299億4,293万9千円とするものです。歳出の主なものとして、障害者自立支援等で9,147万円、新型インフルエンザ予防接種補助等で1億202万円、幼稚園・小学校施設の耐震化推進事業等で3,980万円の増額です。また、中小企業振興基金に1億円、漁業振興基金に5,000万円を積み立てるなど、積立金で2億2,195万円、病院事業会計への繰出しを含め、特別会計等に2,505万円を繰り出すものです。

各議案の細部にわたる審議は、付託された各常任委員会で行われ、22日の最終日には各委員長から全議案可決との委員会審査報告があり、採決の結果、委員長報告どおり原案を可決しました。

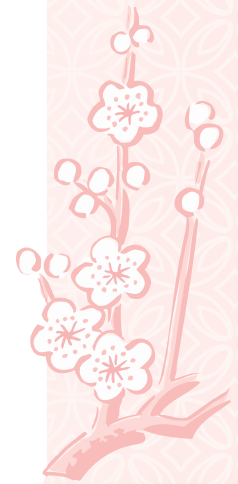
継続審査となっていた請願2件については、教育民生委員長から、請願第2号は継続審査、第3号は採択との報告があり、採決の結果、請願第2号は継続審査、第3号は賛成多数で採択となりました。

22日に追加提案された、議案第148号高瀬町農村環境改善センター耐震補強及び大規模改修工事の変更契約、議

平成21年第4回 三豊市議会定例会

平成21年第4回三豊市議会定例会は、12月3日から22日までの20日間の日程で開かれました。今定例会に於いては、継続審査となっていた平成20年度三豊市一般会計・特別会計歳入歳出決算など決算14件を認定し、三豊市中小企業振興基金条例の制定など条例関係5件、平成21年度補正予算など14件を可決しました。継続審査となっていた請願については、1件は採択され、もう1件は継続審査となりました。人権擁護委員候補者の推薦には同意しました。

市議会だより



案149号仁尾港係留施設整備工事の請負契約の締結についても原案どおり可決しました。

人事案件については次のとおり同意しました。(敬称略)

(人権擁護委員)  
加賀宇 由基(三野町大見)

議 会 日 誌

14日	1月	28日	24日	22日	12月
議会広報委員会		三豊衛生組合議会	三豊総合病院組合議会	三観広域行政組合議会	まちづくり調査特別委員会

在職4年間の検証と成果 三豊市の活性化対策

川崎秀男 議員

市長在職4年間の検証と成果及び次期マニフェストは、公約の総論である徹底した行政改革を図り、公債費比率・将来負担比率・一人当たり基金残高が県内8市中2位までになった。公約マニフェスト19項目のうち未着手は2項目のみ。次期公約では、子育て支援を最重要課題と考え、医療費の無料化を中学校修了時まで引き上げたい。

市の活性化経済対策として、プレミアム付商品券を22年度も発行する考えは、地域通貨として、三豊市商品券の利用拡大を図りたい。

Cランク業者への発注事業を増やす必要は無いのか。また、旅行者も市内の業者を優先して使っていくべきでないか。国からの経済対策としてCランクの事業を発注予定であるし、随意契約を極力控えることで受注機会を増やしていきたい。旅行者を地元優先とすることは同感である。

三豊市の農業従事者の高齢化と荒廃対策について

山本 明 議員

耕作放棄地の実態を問う。市内には1,679ヘクタール、21%の農地が放棄地となっている。

農地を適正に管理し有効利用するための施策と組織づくりが必要ではないのか。

担い手の確保が重要である。法改正により農業生産法人以外の企業等の農業経営参加が可能となり、農業生産法人や営農組合、新規就農者や退職後の就農希望者等、多様な担い手の確保・支援について積極的に対応する体制の整備を検討している。また、現在農業振興課・農業委員会・JAの三者で耕作放棄地対策の協議を進めており、早い時期に農村支援センターのような組織を立ち上げ、農業について窓口の一本化を図りたい。

販売窓口として給食用食料納入組織を作っては、地産地消を進め、耕作放棄地対策としても、関係団体と協議を続けていく。

高瀬町公民館施設整備 たかせ天然温泉会員制度

鴨田 偕 議員

高瀬公民館・図書館は築40年以上経過し、老朽化が著しく緊急避難場所としての機能も果たせない状態。新たな施設整備についての考えは、両施設とも老朽化が進み、安全性やニースに十分にはこたえられていない。建て替えについての検討が必要だと考えるが、ただ単に公民館・図書館の建て替えだけの問題ではなく、本庁を中心とした地域の全体的な構想の中での検討が必要であるので、慎重に事を進めていきたい。

指定管理者制度の導入により、たかせ天然温泉での年間入浴会員制度が廃止された。利用者からの不満の声も多いが、会員制度導入の考えは、経営・管理を委託した民間事業者が利用料金を定めることになっており、今のところ導入の考えはないとのこと。

ただ、議会で議論する中で導入に対する強い要望があったことは事業者に伝える。

市民に正直を貫く

大平敏弘 議員

県下のごみ処理広域化の協議はどのようになっているのか。

広域化は、各自自治体により温度差があり分別方法も異なり時間を要するので、まず市の処理方式を決定し、引き続き広域化の道も探っていく。市民による生ごみ処理の徹底を図ってから、ふさわしい規模のバイオガス化生ごみ施設に動くべきと考えるが、ごみの減量化・資源化は必要であるとの検討委員会等の意見を具体化するため、担当課において段階的アプローチやEMぼかしを利用した推進施策を検討中である。支払に係わる職員の処分については市民説明が必要では

担当職員1名と当時の管理監督者2名に対して、文書による厳重注意とした矯正措置を行い、現在関係する管理監督者に対しても、再発防止のため注意喚起を行った。措置は懲戒処分には該当しないことから公表はしていない。

子どもの医療費無料化年齢を中学校卒業まで引き上げを！

岩田秀樹 議員

三豊市は、子どもの医療費窓口無料化を他市に先駆けて9歳までにした。しかし、子育て世帯を取り巻く環境は厳しく、非正規雇用の増大や雇用保険を受け取れない失業者の増大等、世帯収入の減少で生活が破綻し、病院にかかれぬなどの状況が生まれている。義務教育の間、安心して医者にかかれる環境整備を行うことが自治体の責務と考えられる。そのために、医療費の無料化年齢を中学校修了までとすることを求める。

乳幼児医療費助成事業は、現在、単独事業としては6歳まで、市単独事業で9歳まで実施している。まんのう町がすでに中学校修了までの医療費助成を実施しており、観音寺市も22年4月から、善通寺市も22年度の予定で実施を検討している。

三豊市も22年10月をめどに、現物給付での実施を検討中である。

市の在庫書籍の処分は？ 事業完了後の評価を！

多田 治 議員

市には2万冊余、金額にして4千万円余の文化財関連書籍が眠っているが、その販売並びに有効活用をどのように考えているのか。

在庫になっている書籍も各町時代・新市にとっても、一つの文化のバロメーターとして価値のあるものである。しかし大量に在庫になっているのは大きな課題である。市広報紙にチラシを入れたが、未配布の学校関係に置くなど有効活用し、残りは市民部・教育委員会で処分に取り組む。

市の一般会計の会計方式は単年度・単式簿記方式のため、事業完了後の在庫・備品数も会計簿上掲載されない。事業完了後の検証を行う評価制度の導入が必要と思つた。

三豊市の全事業518事業のうちから、外部評価委員会にリストアップを願い、議会の意見も入れて外部評価に付すべき最終事業リストを作成し、事後評価を実施する。

詫間新的場橋の増幅架け替え要望のその後について

小林昭武 議員

私の6月定例会での一般質問に対する答弁として、自転車歩行者側の立場に立った増幅架け替えへ向けての緊急緊要性を認められ、県当局への要望を約束したまま、6カ月後の今までナシのついでである。その後の対応なり、今後に向けての見通しについて尋ねる。

県当局とは、鋭意折衝中であるものの、そうした経緯説明が遅れた点はお詫びする。県側としては、新的場橋は昭和49年の架設であり、現在の設計基準に沿った増幅を伴う構造計算は困難である。加えて、構造がピアノ線入りPC桁であり、差し筋をしての増幅は困難である。従って、現状調査の上、代替案を両者で協議しながら検討を重ねることになっている。いずれにしても、現在通行障害となっている植込みや規制標識等を移設し、自転車や歩行者の円滑な通行体系を早急に整えたい。

市職員の教育研修成果及び人事考課制度

金子辰男 議員

職員教育・研修内容とその成果は、人事考課制度をどのように活用しているのか。

三豊市人材育成基本方針に基づき、県市町村研修センターの階層別研修・能力開発研修、市独自の人権研修等の全体研修や特定の職員を対象とした公務員倫理並びに接遇研修等を実施し、延べ1,836名が参加した。今後は自ら望んで受講するよう研修に対する意識改革を促すとともに、その成果を一層組織の活性化につなげたいと考える。

人事考課制度については、職員の人材育成・公務能力の向上を目的としており、勤勉手当・昇給昇任等、既に人事管理に活用しているが、職員のモチベーションアップなど人材育成の面でも、より有効なものとなるよう努めていきたい。また、職員個々の能力が最大限発揮できる職場環境づくりや研修を行い、人事管理の適正化を図っていきたい。

文化予算の補助金カット 旧高瀬町原下工業団地裁判

瀧本文子 議員

文化協会等各団体は3年間で補助金が30%カットされ、これ以上の削減はやめてほしいと、切実な声が聞かれる。今後の文化予算の考え方は、文化協会補助は241万円と減額しているが、「社会教育団体連絡協議会」を設置し事務処理面の軽減を図っている。削減値を達成している。削減年度の予算カットは考えていない。

原下工業団地裁判の経緯等について明らかにし、市民への説明責任を果たすべき。民事裁判は、元町長ら4名に対し5,692万円と730万円、職員に対し518万円、元公社理事長ら3名に対し1,671万円の損害賠償を求めているが、刑事裁判の進行待ちで進展はなし。

刑事裁判は、元理事長と職員2名を虚偽有印公文書作成・同行使・背任罪で、職員1名を業務上横領で告訴。22年1月25日に論告求刑が行われる。

小泉路線の規制緩和、価格競争が市内業者に大打撃を

三木秀樹 議員

市長が信望している小泉構造改革路線により、大打撃を受けている市民に対する対応策を問う。

小泉改革の骨格の一つ規制緩和と政策による激安過当競争で、中小企業は倒産寸前。市内の散髪店もその一つだ。料金3分の1以下の激安店との競争は、いくら企業努力しても客は減るばかりが実情だ。市長の支援策を問う。

市では手に負えない問題で、全国的課題として国に向けて強く訴えていきたい。小泉改革の市場万能・競争主義が、市の発注する入札制度にも貫徹。これまで130万円以下の公共工事は随意契約も可能としていたものを、原則指名競争入札に変更。業者間の低価格競争をあり、仕事破壊をもたらす。随意契約で代えられない理由は何か。多くの業者に対し受注機

会の増加につなげたい旨から、他に、関連2課題を質問

# 委員会審議

## 総務常任委員会

12月14日開催の総務常任委員会には、5議案が付託され審議した。

### 主な質疑と答弁

三豊市高瀬町総合交流ターミナル施設及び三豊市高瀬町産地形成促進施設管理基金条例の制定 この基金の原資は何か。またどのようなときにこの基金を取り崩すのか。基金の原資の主なものは、施設使用料である。また基金を取り崩すのは、経年劣化による100万円以上の改修を行うときである。

三豊市中小企業振興基金条例の制定 この基金の運用はどのように行うのか。また、中小企業の振興を図るための対象企業はどのようなものか。中小企業振興基金補助金交付要綱を定めただうえで、補助金として使用する。また、対象企業は、商工会に加盟し

ている中小企業はむしろのこと、地元産業が元気を出せるよう、対象範囲を幅広く運用していく。

一般会計補正予算関係部分 豊中町の善佐衛門池の埋立排水路工事を管財課が執行する理由は。

善佐衛門池は、普通財産となっており、管財課所管の財産である。工事については、合併前からの約束事であり、地元との協議済みである。

中小企業振興基金補助は、農商工連携によるものなど、複数にまたがっているものもそれぞれ補助が受けられるのか。また、中小企業振興協議会が実施する講師を招いての講演会等も対象となるのか。

農商工連携であっても、補助は申請一件に対して行うもので、複数には補助されない。また、中小企業振興協議会が運営する事業も、市長が適当と認めた場合は、対象となる。

以上、各議案とも慎重な審議により原案どおり可決した。

## 建設経済常任委員会

12月15日開催の建設経済常任委員会には、3議案が付託され審議した。

### 主な質疑と答弁

三豊市漁業振興基金条例 基金を原資として行う補助事業は、漁業協同組合が補助対象となることだが、組合員数は何名なのか。

市内には4つの漁業協同組合があり、組合員の総数は、21年3月31日現在で、正組合員が166名、準組合員が145名、合計311名である。

漁業振興を図るために基金を使い切った場合は、どのように考えているのか。

基本的には事業効果を検証し、効果が認められれば、再度、積み立てをお願いすることになるかと思う。

以上、各議案とも慎重な審議により原案どおり可決した。

## 教育民生常任委員会

12月11日開催の教育民生常任委員会には、11議案、2請

願が付託され審議した。

### 主な質疑と答弁

香川県三豊市・観音寺市学校組合規約の一部変更 組合議員定数の変更理由は何か。

観音寺市の方が生徒数も負担金も多い実情を踏まえ、三豊市・観音寺市の議員数の均衡を図るため、三豊市議会議員の定数削減時期に合わせ、定数を1削減し8人とするとともに、三豊市の議員数を1減らし4人ずつの同数とするものである。

一般会計補正予算関係部分(市民部関係) 瀬戸グリーンセンター更新工事について、何の説明もなく、いきなり補正が出たのはなぜか。

三豊市が、し尿と浄化槽汚泥を搬入予定の瀬戸グリーンセンター更新工事については、22年度で計画していたものを21年度に前倒しするなどの変更について事前の説明がなく、最終的に案がまとまってから連絡があったため、急な補正となった。広域組合の構成市でないため、組合議

が、今後は、組合議会の議案を事前に協議する前段の会議に、課長を出席させることにする。

(教育委員会関係) 学校の耐震補強工事で、国庫補助金の返還命令が出た件で、内容と今後の処分はどうなっているのか。

耐震補強工事において、設計段階での設計書への転記ミスと数量計算時の積算ミスがあったこと、施工業者がそれに気付かずとその図面どおり施工したことが原因である。処分として、設計事務所と施工業者については、3カ月の指名差し控えと、過払い分の返還をもらうようになる。

以上、各議案とも慎重な審議により原案どおり可決した。また、ごみ処理の請願については、第2号は継続審査となり、第3号は時間の経過とともに、ごみ処理技術検討委員会及び環境市民会議の中で、も中身が煮詰まってきたので、採択すべきという意見があり、挙手採決の結果、賛成多数で採択された。